

地球環境を脅かす



温暖化

食卓に 起きている異変！



秋の味覚サンマが食べられない

21年度サンマの水揚げ量3年連続の減少
過去最低—20年比38%減、18年比80%
今後、温暖化によって漁場は北へ遠ざかり、漁期は冬に移行、なおかつホッソリ、小ぶりになっていく。



小麦の値上がりで パン・パスタが高くなった！

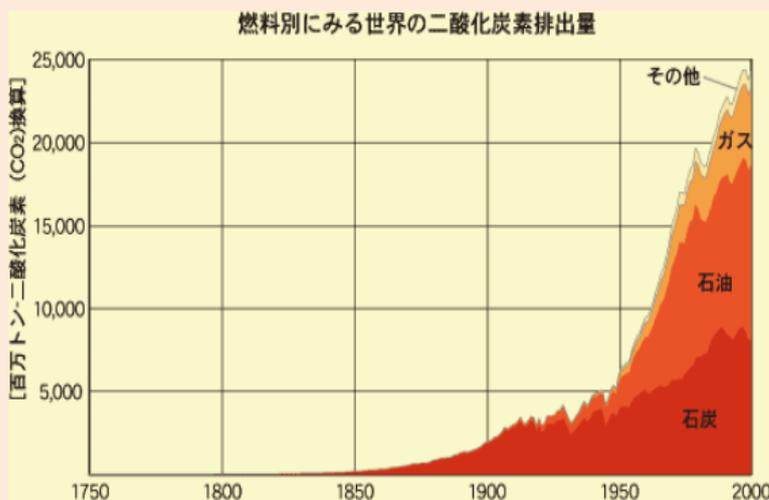
アメリカ西部、オーストラリアの干ばつで小麦が不作になっている。ウクライナは世界有数の穀物輸出国、海上封鎖で出荷できず。そのうえ世界的原油高で燃料費が高騰、輸入に頼る日本は窮地です！



- 温暖化による異常気象はにほんだけでなく、世界各地に集中豪雨、洪水、土砂崩れ、竜巻、熱波を引き起こしている。
- シベリアでは永久凍土が融けだし、大地がゆがむ。
地中に閉じ込められていた新たな細菌・ウイルスが地上に出てくる。
- 海面上昇で海岸線は水没→2050年までに避難民12億人の予測もでる。



世界の二酸化炭素排出量の推移



出所) オークリッジ国立研究所

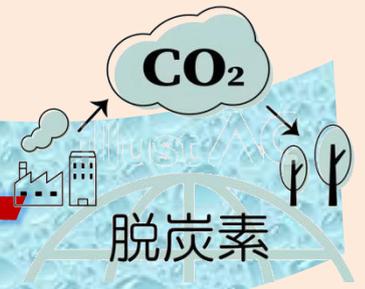
CO₂の削減 待ったなし



- ◆化石燃料を即刻止めよう
- ◆再生可能エネルギーへの転換が急務
- ◆気温上昇を産業革命前の1.5℃までに

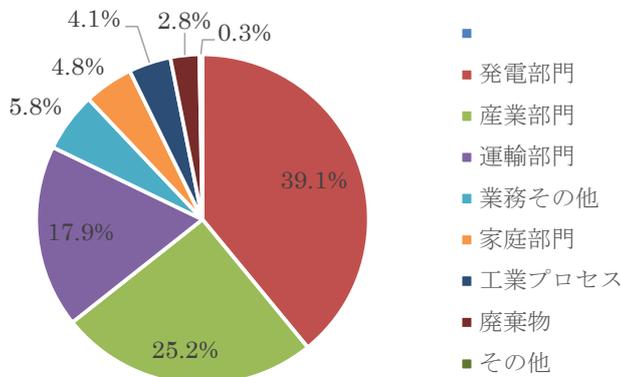
(COP26)

脱炭素社会をめざす



日本の部門別二酸化炭素排出量の割合

2019年度（直接排出量 約11億794万トン）



（出典）温室効果ガスインベントリオフィス

日本政府の目標

2030年までにはCO2を46%削減
2050年にはカーボンニュートラル
(CO2排出量実質ゼロ)

- ・排出量の多いのは発電部門、産業部門、運輸部門で82%をしめる
- ・電力会社は石炭火力発電を、即時廃止しよう。途上国への輸出もやめよう。
- ・「CO2削減にはやっぱり原子力」など原発への固執はやめよ。3度目はもうナイ！
- ・環境破壊を避けつつ、太陽光発電・風力発電に全力で取り組もう。
- ・鉄鋼・化学・セメント工業など原料の脱石炭に24兆円を予測、政府の支援策は？
- ・自動車産業では35年までに販売の新車は全てHV車・EV車への転換を表明する。
- ・中小企業アンケートの声・・・何をどうすればいいのか分からない。
(全企業数の99.7%) いまは何もしていない。



日本の対策は周回遅れ、政府は早く方向性を打ち出し、実行を！

グレタさんの演説

・・・今すぐかつ大幅な年間排出量の削減が必要だ。技術的な解決策だけではそれに近いことはできない。

社会を根本的に変えなければならない。これは私達のリーダーがこの危機に対処することを引き延ばし、怠ってきたことによる不快な結果である。(2021.11.5)

スピーチする
グレタ・トゥーンベリさん



くらしを変えるのはあなたの一票



若者の声が届く政治を